

～資源とごみのゆくえ～

● 立川市のリサイクル

立川市は「**未来へつなごう ごみをつくらないライフスタイル**」をスローガンに、2R(リデュース、リユース)を推進しています。まず大切なのはリデュース(発生抑制)、次にリユース(再使用)、最後にリサイクル(再資源化)です。最後のかなめ、リサイクルですが、立川市で分別・収集された資源とごみは、その後、どんなルートで処理されるのでしょうか。また、資源はどのようなものに再生されるのでしょうか。



「資源とごみのゆくえ」
を次のページで確認♪

● 再生品を使おう！

せっかく集めた資源です。私たちの生活の中にも再生商品を積極的に取り入れましょう。再生品には、古紙を一定割合利用した製品につける「グリーンマーク」など、ペットボトルをリサイクルした商品に表示する「PETボトルリサイクル推奨マーク」、リサイクルしたびんを原料とするガラスびんに表示する「エコロジーボトルマーク」などがあります。品物によってさまざまなマークがついていますので、購入の目安としましょう。

紙のリサイクルマーク



グリーンマーク

R100

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

R50

古紙パルプ配合率50%再生紙を使用

再生紙使用マーク

※古紙の使用率で
数字が変わる



牛乳パック
再利用マーク



PETボトル
リサイクル推奨マーク

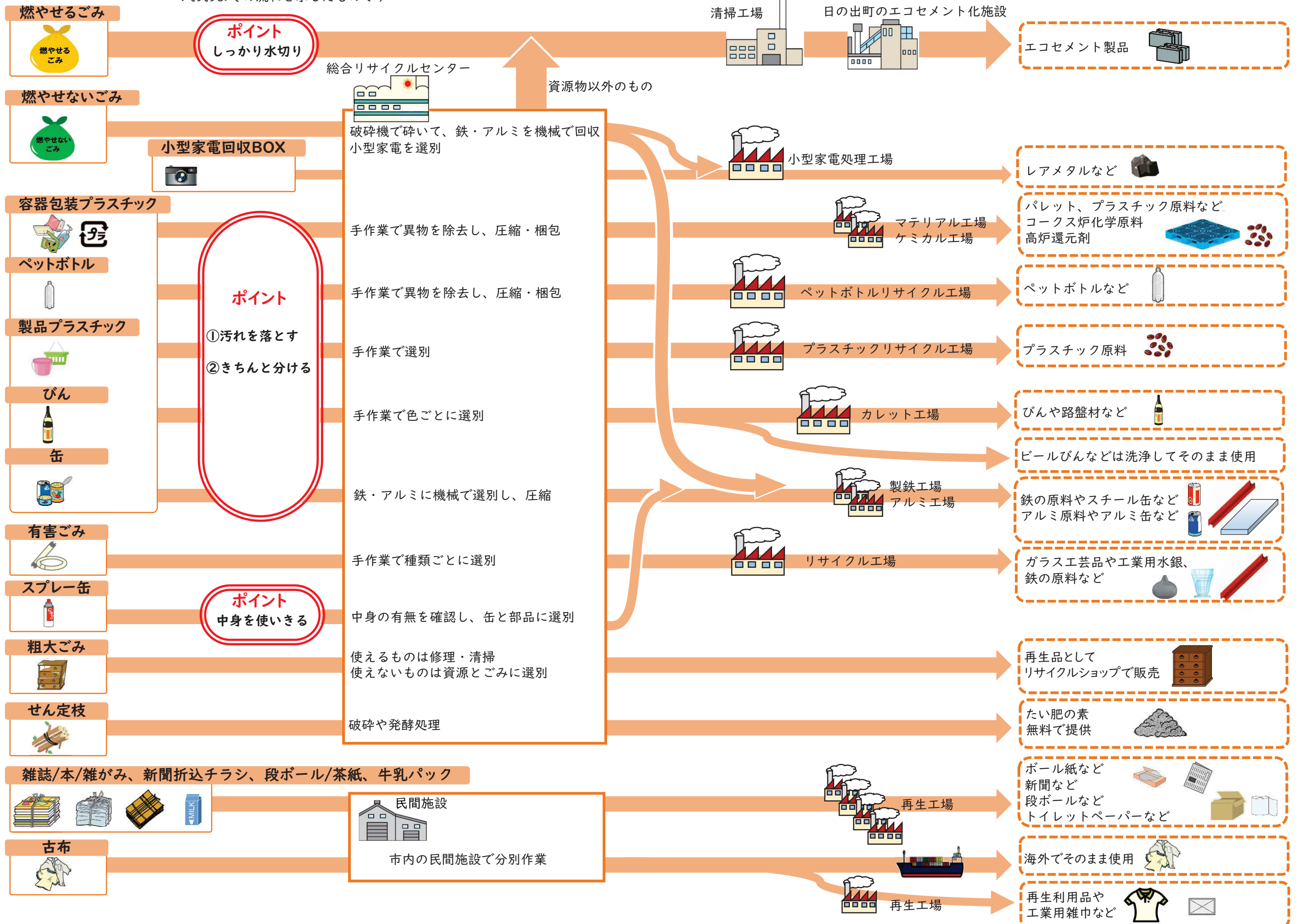


エコロジーボトルマーク
(3タイプ)

立川市の資源とごみのゆくえ

資源とごみは、それぞれ処理する方法が違いますので、きちんと分けましょう

*おおよその流れを示したものです

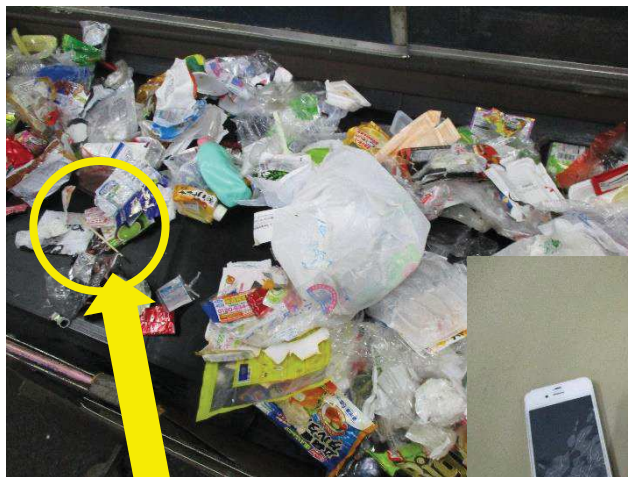


きちんと分別！

容器包装プラスチックは作業員が手で選別しています。割りばしや食品の食べ残し、燃やせるごみ、燃やせないごみ、さまざまなものが混ざっており、取り除くのが大変です。また、電池の入ったままの家電製品などは火災の原因となり大変危険です。正しい分別をお願いします。



ベルトコンベヤに乗せられた容器包装プラスチックを選別している様子



ここに割りばしが!!



スマートフォンやゲーム機が混入していることも

びんと缶の出し方

びんと缶は、水ですすぎ、かご等の容器に入れて出してください。

びんと缶は収集曜日が違いますので、同じかごに入れたまま出さないでください。

ご協力をお願いします。



びんの出し方

- ①キャップを外す(キャップは燃やせないごみ)
- ②中をすすぐ
- ③かご等の容器に入れて出す



缶の出し方

- ①キャップを外す(キャップは缶と一緒に出す)
- ②中をすすぐ
- ③かご等の容器に入れて出す



ビニール袋に入れて出さないで!

収集されたびんと缶は、総合リサイクルセンターに運ばれ、資源として再生するため、びんは作業員により色別に、缶は磁選機によりアルミやスチール缶に選別されます。袋で出されると、これらの選別作業が困難になります。